

平成28年度 評価委員会による学校の総合評価

学校名	和歌山市立高松小学校
実施日	平成29年2月27日

1 教育目標

豊かな人間性と自ら学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子供を育成する。
たのしい学校・かんがえる子供・まことの言葉・つながる心

2 学校評価についてのご意見

	ゆたかな心	確かな学力	開かれた学校
重点目標に関する意見	重点目標は、高松小学校を日本一の学校にするためにふさわしい目標であり、本年も確実に成果があがっている。今後も継続して本目標を掲げ、より良い学校にしていってほしい。		
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・暗唱、音読、読書の習慣は大切である。今後も続けて取り組んでほしい。 ・美しい言葉は美しく豊かな心を育てる。小学校のときに美しい日本語を話せるように取り組んでほしい。子供にとって一生の宝になる。 ・クラスメイトの意見に関心を持ち、賛成、反対など様々な意見が交わされているのがすばらしい。友だち同士で教え合う姿、聴き合う姿はマナー良く思いやりにあふれている。保護者も見習いたいと思う。 ・先生が、一人一人の子供を大切に思っていることが伝わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、話す人に姿勢も気持ちも向ける「聴く」力の育成を実践している学級が見られる。どの学級でもそのような姿が見られるよう努力していただきたい。 ・授業から、学校の方針通り先生が一生懸命に子供の学力向上に努めていることが伝わる。これからも、子供が目目を輝かせるような授業づくりを目指していただきたい。 ・作文指導がすばらしかった。 ・教え合う、学び合う姿が見られた。 ・分かりやすい板書計画を工夫すべきところも見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長、教頭は積極的に地域の行事や会議に参加しており、地域との連携は非常に良い。 ・地域の声を聴いて、学校の運営に生かそうとしている。 ・保護者や地域住民が、学校にかかわる機会が多い。オープンマインドが子供たちにも自然に伝わっている。 ・自治会の回覧に「学校だより」が添付され、学校の状況がよく分かって良い。 ・どの先生も大きな声で挨拶してくれるようになって、気持ちが良い。 ・防災に関する教育が素晴らしく、子供の意識が高くなっている。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・校長室を訪問すると、子供が校長先生に暗唱を聞いてもらうのを楽しみにしている姿を見る。子供の励みになっているのがよく分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生のじっくり聴く姿勢が子供の考える力を伸ばしている。 ・子供たちが学び合うことにより興味や疑問・理解を生んでいる。 ・聴く力、聴き方に重点を置いた授業スタイルを実践している姿は素晴らしかった。このコミュニケーションの基本が、学校全体に広がっていけば、子供同士、親子間の関係にも、良い影響が出るものと考えている。 ・子供が明るい表情で授業を受けている。先生と子供のコミュニケーションがうまく取れていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう集会は、見守り隊への感謝の気持ちが伝わり、ほのぼのとした心温まる集会である。見守りへの励みになる。 ・「学校だより」により、校長の学校創りに対する思いが地域の人に伝わっている。 ・めざす学校の姿が、子供・地域・保護者の共通認識になっている。
改善方法に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま継続していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力とともに、思考力・判断力・表現力は非常に大切である。これらの育成に一層取り組んでいっていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう集会は、見守り隊の人を順番に招待したらよい。子供たちを守ろうとする気持ちは皆同じである。 ・現在の取組が、今後も継続されていくことを願っている。

3 その他のご意見

・地域の方には、ただただ感謝あるのみである。地域コミュニティが希薄になる中、地域の方との良好な関係を継続していけるよう保護者は努力していくべきだと痛感する。

・子供たちが夢や目標をしっかりと持てるような取組をしていきたい。先生方にはどうして教師を志したのかなど、具体的に話してもらい、子供が将来に夢を広げ、つなげるような試み、キャリア教育などをお願いしたい。

・見守りをしていて気づくのは、入学当初は体も小さく言葉をかけても黙ってうなずくだけだった一年生が、一回り大きくなり、動きも素早くなり、信号待ちの間に自分から学校の出来事を話してくれるようになることである。子供の成長には、感心するばかりである。

